



院内がん登録について



当院では、がん診療連携指定病院として
院内がん登録を実施しております。

院内がん登録とは

院内がん登録は、病院で診断されたり、治療されたりしたすべての患者さんのがんについての診断、治療およびその後の転帰に関する情報を収集し、保管、整理、解析する仕組みのことです。

収集した情報から病院内の対がん活動の状況を把握し、がんの早期発見や治療、予後の向上、診療の支援とがん診療の機能評価に役立てること、ひいては地域レベル、国レベルのがん対策にも役立てることを第一の目的としています。

個人情報の取り扱いに関しては、「医療・介護関係事業者における個人情報の適切な取扱いのためのガイドライン」に沿っています。

以上のことについて、同意できないとお考えの方はその旨を診療情報室までお申し出ください。お申し出がない場合は同意していただいたものとして取り扱わせていただきます。

院内がん登録全国収集データの二次利用について

国立がん研究センターに提出された院内がん登録データは報告書を作成するだけでなく二次利用として

- ① データのより詳細な集計や研究解析を行って実態を検討する。
- ② 全国規模で対象を選び病院からアンケートをお送りして意見をうかがうなどの活動を通じて、国全体で、より良いがん医療、がん対策に役立てることが期待されています。

これらの二次利用は定められた審査を経て行われるものですが、もし自分に関する情報が二次利用に使われたくない場合は当院の窓口へお申し出ください。データの管理や制度の詳細は国立がん研究センターがん情報サービスをご覧ください。必要に応じお問い合わせフォームもご活用ください。

なお、上記は全般の情報ですが、個別の研究については、各研究者の所属機関における倫理審査委員会の指示に従い情報公開等を行います。

国立がん研究センター
がん情報サービスのホームページはQRコードから確認できます。

当院窓口：診療情報室

<https://ganjoho.jp/public/index.html>

